

## 1. 開館後の事業計画

開館年（2020年）の展示計画について、以下のような内容で検討している。

人形の資料性や運営の現実性などを考慮し、常設展の展示替えサイクル、企画展の会期を設定した。

また、開館年は、収蔵品のうち鑑賞価値の高い名品を見せることを主眼とし、二年目からはバリエーション豊かな内容の企画展を実施する予定である。

### （1）展示事業計画

#### ① 常設展示室1（さいたまの人形）

展示ケースの人形については4シーズンごとに展示替えをする。

#### ② 常設展示室2（コレクション展示 日本の古典人形）

- ・古い染織品を含む古典人形の公開期間を年間60日～65日を基本とする。
- ・年間5回の展示替えを実施予定

#### ③ 企画展

- ・企画展は年4回実施予定
- ・古典人形については会期を38日程度で設定
- ・近代以降製作された人形および郷土人形や海外の人形などの会期は38日より若干長く設定

#### 【企画展スケジュール案】

<平成31年度>

- (1) 「オープン記念展Ⅰ（仮）雛人形と犬笛・天児・這子」  
2月22日（土）～4月5日（日）（※38日開館）

<平成32年度>

- (2) 「オープン記念展Ⅱ（仮）御所人形展」  
4月11日（土）～5月24日（日）（※38日開館）
- (3) 「オープン記念展Ⅲ（仮）人形衣裳のきらめき」  
7月18日（土）～8月30日（日）（※38日開館）  
※東京2020オリンピック 7月24日～8月4日
- (4) 「（仮）へちまコロンの創業家・天野家の人形」  
10月3日（土）～11月23日（祝月）（※45日開館）
- (5) 「（仮）津々浦々のおひな様」  
2月27日（土）～4月11日（日）（※開館38日）

#### ④ 企画展示室の特集陳列

- ・企画展の会期が短いため、企画展を開催していない時期が年4ヶ月程度発生
- ・この間、企画展示室をパーテーションで仕切り、2分の1、3分の1程度を稼働
- ・収蔵品のなかから特集陳列を実施予定

#### ⑤ 展覧会に係る刊行物

- ・名品選図録（コレクションの名品紹介） 70頁程度 図版中心
- ・ワンコインガイド（常設展示室1・2の展示案内、コレクション紹介）30頁程度

### （2）普及事業計画

開館年については、展示事業を中心に進めていくことから、普及事業は、基本的にオープン記念展の関連事業として以下のものを実施する予定である。

- ① 講演会 ・オープン記念展Ⅰ期間（2月上旬）に開催 「（仮）日本人形のこれから」  
・1回程度/年（企画展に合わせて開催）
- ② ギャラリートーク 2回/月 \*常設展示室1、2、企画展示室  
子ども向けギャラリートーク 1回/企画展
- ③ ワークショップ（体験講座、実演など） 1回以上/企画展 \*ただし、夏は子ども向けに開催  
企画展等展示に関連したワークショップを、平成32年度から開催する。

### （3）広報計画

- ① ホームページ プレオープン 平成30年度末
- ② ニュースレター 4頁程度（年2回発行予定）
- ③ 落成式の開催とミュージアムショップの計画準備

## 2. 寄贈資料の調査について

博物館の開館が周知されたことによって人形の寄贈の申し入れが増えており、受け入れ可否の判断、受領手続き、内容を把握するための調査を随時実施している。



天野家 調査風景（プラザノース収蔵庫・一時保管庫）

## 3. 修復について

平成29年度後半から浅原コレクションの人形修復に着手し、本年度は開館記念展出陳・図録掲載候補資料を優先的に、修復をおこなっている。今後、脱着が前提となる御所人形の衣裳レプリカ製作なども検討する。



御所人形 立子(女子)

## 4. 映像撮影について

常設展示室1「さいたまの人形」に設置する映像コンテンツ制作のため、岩槻の人形製作工房4か所で、人形の製作風景を動画撮影する。平成30年8月29日にロケハン、9月に撮影、10月～1月編集作業というスケジュールで進めている。

#### 【映像】「人形ができるまで」

- ・常設展示室1設置 32インチタッチモニター
  - ・日本語ナレーション、日本語字幕、英字字幕
  - ・5項目タッチパネルを想定。1項目2～3分で編集
- ①かしら製作Ⅰ頭の形を作る（桐塑頭のカマイケと型抜き、石膏頭の型抜き）（3分）
- ②かしら製作Ⅱ肌を作る（胡粉の塗布、置き上げ、目切り）（3分）
- ③かしら製作Ⅲ髪を植える（結髪）（2分）
- ④胴体製作 衣裳を着せる（2分）
- ⑤木目込人形（ボディの木目込みと面相）（3分）